

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	川西市参画と協働のまちづくり推進会議 令和2年度第6回B部会		
事務局(担当課)	総合政策部 参画協働課		
開催日時	令和3年1月29日(火) 午後7時00分から午後8時30分		
開催場所	ウェブ会議システムにより開催 (傍聴場所:川西市役所 4階 庁議室)		
出席者	委員	田中晃代、横谷弘務、延命寺陽子、金剛丸朋子、中村佳子、堀田大樹、山澤剛、吉尾豊	
	その他		
	事務局	総合政策部参画協働課 副部長兼課長、課長補佐、同課主任2名	
傍聴の可否	可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p style="margin-left: 40px;">1 開 会</p> <p style="margin-left: 40px;">2 議 事</p> <p style="margin-left: 80px;">B部会のテーマ</p> <p style="margin-left: 80px;">「(地域・市民活動に対して、)やる気や興味・関心が薄い方を巻き込んでいくには」</p> <p style="margin-left: 40px;">3 閉 会</p>		

19:00～

1 開 会

2 議 事

B 部会のテーマ

「(地域・市民活動に対して、)やる気や興味・関心が薄い方を巻き込んでいくには」

○事務局

定刻になりましたので、始めさせていただきます。よろしくお願いします。

○部会長

まず、今日の部会で、次第を作ったんですけども、2つ明らかにしないといけないことがあります。

一つは、3月17日が全体会です。この後、事務局に説明いただきますが、A部会、B部会ともに15分で提言内容の概要説明をします。あと、提言内容についての感想や思いを述べてもらいます。当日は、市長も来られて、コメントいただきます。少しやり取りもできますでしょうか。

○事務局

はい、できます。

○部会長

可能ということで、しっかりと市長に向かって、伝えていくことが大切と思います。

もう一つは、提言書のスタイルにも関わってくるのだと思いますが、今後の展開どうするかということです。

そして、提言までの経緯などこれまでに整理できているので、提言書のスタイルとしては、今後どうしていくのかということを部会のメンバーの方に書いていただきたいと思います。

A部会の方も、これからどうしていくのかということを、とても大事にされています。提言したけどもそれで終わってしまうというのは、良くないということで、今後続けていくにしてもどういう形が

いいのかということ話し合っていないといけないですね。

今日はこの1と2で焦点を絞って、話し合いたと思います。

それでは、事務局から全体会の流れについて、説明いただきます。資料を画面に共有します。

○事務局

事務局からご説明します。

3月の全体会の次第案をご覧ください。岩崎会長、藤本副会長、田中部会長とどのように会議を進めるのか、事前に打ち合わせしました。

3月の全体会は、市長が参加し、皆さんからの提言を受け取ります。最初に岩崎先生からご挨拶をいただいた後に、それぞれ部会ごとに概要説明をいただきます。また、提言に対する思いや2年間の議論の感想を伝えていただければと思います。市長は各部会からの提言に対してコメントをされますので、そこで一定のやりとりがあってもいいと思います。

また、是非お願いしたいことは、提言内容だけではなく、会議のあり方についてのご意見をいただきたいと思います。今回の参画と協働のまちづくり推進会議は、市民公募枠の拡充、若者枠の創設、諮問・答申の形式ではない会議形式、オンライン会議の導入などの新しいことにチャレンジした会議になっています。これらについての感想を是非いただければ、今後の審議会のあり方の参考にもなると考えています。

事務局からは以上です。

○部会長

事務局が説明された各部会の概要説明は、部会長よりも市民である部会員の方をお願いしたいと思います。15分しかないので、ターゲット絞って説明いただきたいと思います。

これに関して何かご質問とかありますか。

○委員

部会長は説明されないということで誰がするかはまだ決まってないんですね。

○部会長

まだ決まっていません。

ただ、あまり難しい提言書は良くないということは、A部会もB部会も同じ考え方なので、これからこの提案をどうしていくのかをしっかりと書いていただければと思います。

また、先程、事務局が若者枠の設置という説明をされていたんですが、少し見ていただきたいものがあります。なぜ、行政は若者に着目しているのか、若者とは一体何なのかということです。少し調べてみました。

令和元年度川西市民実感調査の報告書の59ページに「これまでに参画と協働の取り組みを行ったことがありますか」という質問があります。「行ったことがある」と答えた方は8.7%しかいません。そして、年齢別の構成を見ますと、30代40代が低いのが分かります。谷になっていて、20代や50代60代が参画と協働の取り組みを行ったことがあるという割合が高いです。

若者とは、どうやら子育て世代の人たち、その人たちがやはり忙しいということもあり、中々参画と協働の取り組みに関われないという状況があるようです。

ターゲットはこの世代だと思います。そして、そういう世代がこの参画と協働のまちづくり推進会議に関わっていらっしゃるの、その人たちが関わってくださっているヒントが発信できたらいいなと思います。

また、自治会の加入率がどうなっているのかも資料があります。提言書で書いていただく際には、こういう資料も見ながら、それでいて優しい言葉で表現していただければと思います。

職員のアンケート調査もされています。職員はどう思って、市民とどのように協働していこうかと思っているのかは、この意識調査で書いてあります。

こういったものも参考にいただければと思います。

○委員

市民実感調査には「参画と協働に興味があるとか」「やってみたい気持ちがある」とか、そういう設問はありますか。

○事務局

今手元資料がありませんが、参画と協働のまちづくり関係で、設問が 10 個ほどあります。

○委員

何故質問したかという「関心がなくてやっていない」のか、「関心があってやっていない」のかによって、アプローチの仕方が変わってくると思ったので。

○委員

市民実感調査を見ていて、20 代が多いと思いましたが、改めて見ると、20 代の回答数がとても少ないですね。回答している人は興味がある人で、何か活動している人が多いのかなと思いました。逆に 30 代、40 代は、回答をしてるけど、参画していない人が多いようですね。

一方で、「参画と協働を行っていますか」という質問でしたが、コミュニティの会長とかコミュニティに関わっている人以外は言葉の意味が理解できていないと思います。

○事務局

実際に市民の方に答えていただく調査票の中には、「参画と協働」の言葉の説明や例示は記載しています。ただ、結果報告書には細かい例示や説明は記載されていません。

○部会長

市長は、型にはまった会議ではなく、刺激のあるような会議も経験されていると思うので、いろいろ展開できるかと思っています。

15 分程度ですが、どういうプレゼンにするのか、提言書を書くとなるとどうするのかという話です。

今日お話しするのは、全体会に向けてどういうふうやっていくか、A 部会の部会長とも話しましたが、部会もこれからどうするのが大事ではないかと思っています。

そこを提言書にしっかりと書いてもらって、私は過去の話は書き終わったので、あとはバトンタッチして、これからこのカードを使って、或いはこのツールを使って、或いはこれからどういうふうに川西のまちに参画と協働を広げていくのか。

若者枠というのは、先ほどアンケートをお見せしましたが、そもそも若者とは何なのか。今回はたまたま子育て世代の人がいらっしゃいますが、若者って結構広いと思うので、20代、30代、40代、或いは10代とか。

これから部会はどうするのか、解散して終わりということではなく、位置付けはどうするのか。

制度を作ってしまうとそれに縛られたりするし、この前に話があった有償と無償とか。コロナ禍ということで、そんなことがいろいろ残された課題になっているのではと思います。

前回書いたものは過去の経緯を述べたもので、これからきちんと提言書として書いていただきたいと思います。誰がどういうふうを書くのか、難しい言葉は要らないよ、というのがA部会の方も出てきたと思います。今までやってきたことを参考にさせていただいても結構です。市民の声、コミュニティに関する情報が届いているか、自治会ボランティア活動に参加しているか、30代40代は結構関わっていて、50代が低いのはなぜか、とか。

「58」を見ると、30代40代が低い。「今後、参画と協働の取り組みを行ったことがありますか。」という設問では、「行ったことがある」という人が30代40代は少ない。そもそも興味を持っている人が答えているのではないか、ということをお話していました。

こういうことも踏まえて、わかりやすく表現していただければ良いかと思います。前回文章を書くと言ってくださった吉尾さん、延命寺さんやその他書いてくれる方があればお願いしたいです。

○委員

お休みした時もありましたが、大体参加して内容も分かっているので書けると思いますが、3月17日の全体会までに作りを終えないといけないということですよね。

今後どうやって広めていくかというのが今日のところまだ固まっていないので、B部会として固めながら、提言書を完成させないと、と思っています。

ちなみに15分のプレゼンについて、部会長から提案等ありますか。

○部会長

ありません。ただ、全部を皆さんにお任せするというわけではなく、資料やアンケートが要るようなら行政に依頼していただきます。今日も単に若者枠を広げたのは何故かと思って、役所の方に職員のアンケートもいただきました。こういうアンケートも読んでいただくと、結構へーっと思えることが出てくると思います。

職員自身が参画と協働のまちづくりに対してどういう理解をしているかということもアンケートで出てきています。難しい本よりアンケート調査の結果の方が読みやすいかもしれないので、これからの参考になると思います。それをふまえて書いていただき、最終私が見るか見ないかは皆さんにお任せします。

部会としてはこれで終わりでしょうか、事務局。

○事務局

3月に全体会がありますが、もう部会は必要ないと皆さんが判断されれば必ず2月に開かなければならないという決まりはありません。

○部会長

開きたいと言ったら開きますみたいな感じですね。

○事務局

A部会は、2月12日にもう一度されると聞いています。

提言書としては3月17日に完成したものでご説明いただきますが、当然皆さんに資料としてお送りしたり、こちらも用意しとかないといけないので、提出は3月17日より少し前にいただくことになると思います。具体的に何日かはまだ決めていません。

○部会長

提言書の形は、以前作成した文章の中に市民の方に書いていただくという感じですか。

○事務局

この形でお願いしますというものはありません。皆さんで話し合っていていただいております。

○部会長

既に資料は皆さんの方でも作り込んでおられます。トリカワとかカードそのものとか、ルールとかある一定資料はもう作ってくださっています。後はどう広げていくか、とか将来川西で参画と協働を進めていくために何が必要なのかとか。そういう大風呂敷を広げていただくことで構わないと思います。

ただ、書いた人の名前は載るんですよね。提言書の後ろに書いてあるこの人たちが書いたというふうに。それとも文責みたいなものが要りますか。

○事務局

審議会としての提言書なので、そこまでシビアにこの部分はどなたがというところまでは要りません。あくまで審議会としての「提言書」ですので、どなたのご発言であったかまでは必要ありません。

○部会長

部会としてということなので、言ったのでやるという責任も負わなくていいのです。ただ想いとして、将来、川西でどういうふうに進めて広げていくのか。

結構このへんでは議論して面白いこと言ってくださいました。パブリックスペースでこたつを出してカード広げるとか。

重要な話が沢山ありますが、思い出していただきながら、どう広げていくかというところを書いていただければ良いです。逆に私がチェックする必要はないと思います。むしろこんな資料あるかとか、こんな考え方あるかとか聞いてもらって対応するぐらいで良いかと思います。

B部会これからどうなっていくのかいうところも肝心で大事なところです。これで解散か等。そうじゃないという話もあるだろうし、ボランティアでやっていけるのかとか。今まで参画と協働のコミュニティの話でも出てきた話ですよ。みんな忙しいわけで、その中で、ボランティアというのはどうかという話も出てくるだろう。

細かいことではなくて、10年ぐらい先を見て、そのころの川西市がどうなっているのかということころを話していただいたり、記述していただいたら良いかなと思います。

○委員

まず、今日は発表の役割分担をある程度決めて、今後の広め方を話し合ったらどうかと思います。時間がもし足りなければ、次の2月の部会までに今後どうするかだけの話をして、最後の部会で自分が受け持ったパートを発表練習する感じでいければいいと思います。

決め方は、いろいろあると思いますが、できれば1人1役、1分とか30秒でもみんながひとことと言える状況になればいいかなと思います。

例えば、僕は最初の出だしのポップコーン部会という名前になった由来を言ったり、堀田さんならゲームの内容を説明したり、延命寺さんや金剛丸さんは、キセラカフェの実際やってみた感想を言ってもらったり、山澤さんは今後について話し合ったところを言ってもらったり、中村さんはカードを作った経緯やこだわったところ、デザイン性について話してもらったりして、一人一つでも話すようにしたら楽しいかなと思います。

○委員

1人1役というのはとても賛成ですが、全体会に出席できないので、提言書を頑張ります。

○委員

私も全体会の開始時間はちょうど移動中なので、聞くことだけはできます。それまでの間で何か役割を持てたほうがいいかなという状況です。

○委員

そういう意味では、全体会当日に1人一役じゃなくてもですかね。

○委員

僕が考えていたのは、提言書を10項目ぐらいにして、めちゃめちゃ短く作ろうと思ってました。よくラーメン屋さんにラーメン食す心得、みたいなあるじゃないですか。あれぐらいの一文で10項目ぐらいにぎゅっとしようかと思ってたんです。

○部会長

それで良いと思います。

これは何かきっちりと作っているように見えるけど、ここまでは過去の話です。過去の話はもういいので、これからどう広げていくのか、今後のことをいっぱい書いて欲しいなと。

おまかせしますが短くコンパクトなほうが読めますし、それでいいんじゃないですか。

○委員

資料の「今までのツールを周知してどう広げていくか」というところで、答え出てないのに提言って難しくないですか。勝手にさっき言っていた3人とかで決めて良いんですか。

○部会長

今後の話だったら別に良いんじゃないかなと。これからどう広げていくかということなら。細かいことは資料でも作りこんでいるし、大風呂敷広げていいですよという話で。

細かいツールの話をし始めると、もとに戻っちゃうし、将来の大きな話をこれからどうしていくのという。それこそ若者の話も含めて、或いは活動の話も含めてどう周知し広げていくのかとか、結局戻っていくのは、最初にB部会として提言書の中で掲げた全然興味のない人に関わってもらおうという話を含めて。

○委員

私はこのカードをどうやって広げていとか使っていきみたいな提言を想像していました。

でも、その中ですごく気に入っているのは、今カードが全然できあがっていると思っていなくて、ゲーム性だったりとかそのものだったりとか。

あのカードが今の状態でポンと世の中に出て、誰が楽しんでやるのかという状態だと思っているので、カード自体をもっと作り込まないといけないのかなという思いがあったんです。

でも、カードは今の状態で一旦終了して、もっと伸ばしていきたいならこの先伸ばしていきたい人たちがもっと作り込めばいいという話もありきでということですか。

○部会長

いいと思います。

○委員

それこそ10か条か何かで、「第一条:人がこういうところに入る目的は人との繋がり」やろうとかの話を持ってくるみたいな感じですか。

○部会長

構わないと思います。カードの資料もたくさんありますし。

○委員

カードについて、資料としてはあるけど、資料だけでまだ尼崎ツアーザフューチャーになれてない。あれになりたいわけじゃないけど、あそこにもなれてないと思います。

○部会長

カードのツール云々じゃなくて、カードも含めてどう広げていってかという話とか、興味のない人に興味をもってもらってとこですよ。そのためにカードを提言したんですよ。

結局、そういう話も含めて入れてもいいけれど、そのツールをどうしていくとか、細かい話は

もうこれ以上は大変かなという気がして、それよりはもう少し大きな視点で提言していかれた方がいいかという気がします。

カードの部分で、まだできてない部分を考えるのか、或いはざっくりした形でカードも含めてもう少し大きな視点でこれから5年先、10年先を考えて、いろいろ提言書に盛り込んでいくのかというのはどうしますか

○委員

カケルカードをもう少しどうするか、というのを決めたらほぼ内容的には完成だと思うんですね。

なので、それを開発すべしみたいにしたら良いのではないのでしょうか。提言「継続してみんなで開発すべし」みたいな。提言なので「市長が先陣を切ってゲームを広報しなさい」みたいな。強制的に誰かがやらないと意味がないと思います。そんなので無理やり開発をしてやっていくしかないんじゃないですかね。この時代、キセラカフェみたいなのを何回もできないと思いますし。

市議会議員さんにやってもらうとか、市長さんと副市長さんとでやってもらうとか。それを職員がSNSあげてもいいし、そういったことをしなさいとか書いたら、それが提言じゃないかな。僕らが普段言えないことをバシバシっと書いたらいいんですよ。その方が提言っぽいし。

○部会長

インパクトあると思います。

せっかく市長もいらっしゃるので、やっぱり思いなどが示されていけばよいと思います。

○委員

今ずっと、中途半端なままこのツールを世に広めることがいいのかと考えていましたが、結論いいんだろうと。ただ、参画と協働はその中途半端なものからみんなで形づくっていくことが大事だと考えていて、こんなの誰が楽しむのかと他の委員がおっしゃったとおりだと思います。

まだまだ中途半端だと思いますが、多分これを完成させるためには、もっと実践があったり、

カードの種類が精査があったり、なかなか物理的には難しいですね。

このカードはこのカードで一旦出して、こんな案もありますよ、乗っかる人は完成させたらよろしいよと。多分、これまで行政は完成したパッケージのものを出すのが、中々そこに人がついてこなかったということであるならば、中途半端オールオッケーみたいな。

とりあえずポップコーンですから、とにかくアイデアを出していくことの方が参画のプロセスが描けるかという気はしています。なので、あえて中途半端で出すのもひとつだと思ってきました。何も完成したものが全てじゃないのだろうな。

もともと、そのカードの中でリソースカードに私企業を混ぜたりすることが大事やとあって、主体者をどんどんつくっていくことが裾野を広げることに繋がるので。そういう意味でいうと、川西市全員でこのカードを完成させましょう。16万人で完成させましょうとかは言えるかと思いません。

そういうふうなことが書かれていけばいいんじゃないかな。このカードを作ることを通して人と人が繋がるならいいかなあと。

○部会長

中途半端でいいと思います。今まで完璧を求め過ぎてきたから、完璧になりすぎると人はついてこない。

○委員

一つ気になるのが、このゲームで市長が自分のリソースカード「市長」を引いたときになんて言うのかなってということ。

○委員

今話を聞いて、リソースカードの中に自分というのを全員絶対に持って使わないといけないというのもありかと思いました。

○部会長

そういうことも書いたらいいんじゃないですかね。そういうのが数行ずつあったら、それが提言じゃないかっていう話ですよ。

イメージ湧きましたか。

○委員

イメージは広がったけど、提言書に対する方向性が分からなくなった。少し楽しそうな感じはしたけど。

○部会長

でも、楽しそうじゃなかったら人も来ないんじゃないですか。

○委員

出し方も例えば、LINEのやりとりみたいな書き方にしても良いですか。

○部会長

私は面白く書けなかったんですが、逆にこれからのことはそういうやりとりで書いていくのもありかと思います。それがいかに人を引きつけていくのかということだと思います。

LINEのやりとりでもいいです。ツイッターとかティックトックとか。そういう形式で、持ち寄りますか。次回2月にそういう形で書くか、誰か書ける人にお任せしても良いですね。

○委員

出し方がLINE画面になっているのは面白いですよ。10の提言がLINE画面で吹き出しであって、長文だったり短かったりしたのがあって、そのうちの何個かを少し砕いて当日話すみたいな。

○部会長

それがフレーズみたいなことですか、吹き出しに書くぐらいみたいな。

○委員

ただ、まだ中身が想像ついていない。

例えばさっきの話で、「カード開発すべし」と一言でいうか、このカードをこんな思いで作っていてあえて中途半端なまま出すと表現するのかというので、文章の長さとかあり方も全部変わってきますよね。

○委員

僕は文章にはその説明いらなと思います。「開発すべし」の方が理解しやすいかなと。

○委員

補足を別で入れたりするイメージですか。

○委員

補足は提言書には書かないです。説明するときに言うだけでいいんじゃないかと思います。極力要らないこと書かないほうが、意味は入ってきませんか。

○委員

インパクトもあるけど、会議に参加した人はそういう背景があってそうなの分かるけど、参加しないほとんどの人が分からないんじゃないですか。

○委員

最後に、印で説明書いたらどうですか。

読みたくない人は流してもらって、気になる人だけ見られるぐらいで。長々とあると僕は一生

読まないと思うので。それならLINE画面のイメージでいけるんじゃないかと思います。

○委員。

僕も一緒に、まだ難しいなと思って。

簡単に書くというのは確かにすごく大事だと思う。結局の話、ペライチでほぼ分かる。詳しく見たい人は別紙参照みたいな感じで作るのが一番かと思いますが、ちょっとまだイメージわかりません。

ちなみに、提言書はB部会から1部ですよね。

○部会長

そうですね。ただ、資料はいっぱい作りこんでいるので厚さとしては結構あるんじゃないですか。これだけで3ページくらいあるので、いっぱい資料作ってくださったのを全部入れ込んで、あとは将来どうするのかということとか、参画と協働をどう進めていくかという話とか。さっき出てきたような未完成のほうが人をいっぱい巻き込めるよとか、本当にその通りなので。

○委員

どうせなら未完成を活かして、考えてもらえるような仕組みや仕掛けをしたいですね。次のページに答え書いてそうで実は白紙やったとか。その白紙には自分で書きましょう、みたいな。きっと忘れられない提言書になるかなという。何か答えを書くのではなくて、考えてもらえるような。読んだ人に考えてもらえたなら、それでひとつワンステップクリアした感じがする。

これいつまでに完成ですか、そろそろ焦らないとだめですよ。

○部会長

次回2月に集まって、こういう形でという意見を言ったら、次3月17日までに作ったら終わりぐらいですね。

○委員

これは3人で作るの確定ですか。

○委員

それは、たまたま田中先生が指定していただいた3人だと思っているので。

例えば、ペライチでどーんと言葉があって、いくつか注釈があったり、仕掛けだったり。それが提言書で、プラス参考資料や付属資料で過去をきちんと振り返る提言書として出していただいたものや、トリカワの説明のパワーポイントとか。そういうのは、参考資料でついているから見たい人が見られる。でも、提言書としてはその部分を今からみんなで作る。

それこそ自分から参画してみんなが出していかないと、全員人任せにしたら誰も意見が出なくて動かないので。

○部会長

逆に文章じゃなくてフローチャートとか図面とかでもいいんですかね。

○委員

LINE画面って言ったけど、トリカワカードと形式で出してもいいのかも。

端的な、見出しになるような言葉たち。

○部会長

それか、どなたかがこんなの出来ましたと言って、次回これなら書けそうだというので書いてもらうというのもありだし、サンプルとして書いていただくのもありかもしれない。

○委員

これは、文章だけじゃなくて、見た目の問題だと思うんですね。

たぶん10項目も文章で書いてあったら、はいはいってなると思うんですよ。だいたい何項目と

かのものは、フォントが変わってたり、LINEと言ったのも普段見なれている画面やから見るかなと思っただけなんです。

他に良い案ないですか。

○委員

カードみたいにして出すのも、LINEにして出すのもどっちでもいけそうだと思っていただけ、ペラ1枚でやるなら絶対LINEのほうがいいと思うけど、発表するっていう観点で見たら、画面に映してカード出して「1」をめくったら提言が出て、「2」をめくったら提言が出てというイメージかなと。でも、提言書という書面にしないとダメなんですよ。

今の話だとチラシみたいなものしか思い浮かばなくて、全然提言書にならないという感じなんです。

○委員

チラシでいいんじゃないですか。田中先生が作ってもらったものの続きに添付しておいたらいいと思う。

○部会長

むしろ私のものは補足資料で、A4 数枚が前に出てきて提言書になるという形のほうがいいかもしれませんね。

○委員

それを使って発表している画が私の中で全く定まらなくて、みんながスライドを見ているのかプリントを見ているのか。

私も一緒にカードのことを発表するイメージだったんですよ。みんなが興味を持つために、この部会はカードという選択肢を出しましたという。こういうカードを構想して広めていくためには、この中途半端な感じをみんなで作りに上げていくという。

バーベキュー型って今言うじゃないですか。でき上がったものを提供するんじゃなくて、バーベキューで焼くところから楽しんでいくというスタンスが参画するにはいいと思います、というのをカードを中心に話すのかと思っていましたが、大風呂敷を広げるというところでどうやって広げるのかと私の思考がストップしてしまいました。

○部会長

今の話はすごく重要だと思います。そういうのが文章としてあれば良いと思います。

○委員

今、川西市出身の西野さんとかが言っているので、川西市に縁深い気がするので、そういう言葉を入れても伝わりやすい。私が初めて聞いたときにすごく理解できたので。そういう初心者にも伝わりやすいキーワードが入れば、良いかなと思います。

○委員

提言書というのが言葉みたいな感じでまとまると、もったいないというか、トリカワカード作って、中途半端な形だから、これから発展させていきたいが為の提言になるだろうというイメージを持っているのですが。

提言書が、これからみんなが作るものですよという感じのことがデザインされたら良いなと思いました。図なのか絵なのか、これを見たらトリカワカードを自分たちが作っていくという感じがまとまったらいいなというイメージを持ちました。

○委員

私はこれを実践する立場で話をさせていただいておりますが、とてもよい意見が出ていますので、提言の内容についてはあまり細かく書かないほうがよいと思います。

今実践する立場で一番必要なのは人なのです。マンパワーさえあれば、私たちがB部会で提案する内容をいくらでも活かせる方法が出てくるとと思いますが、今のところ人の問題がその地域

の中でいかにして見いだせるかというのが最大のテーマです。

私的にはこのグループが解散するのはとてももったいないです。そのグループが何らかの形で地域に入って見本を見せて広げていければとても素晴らしいことだとは思っているんですが、その中身についてはそれぞれ地域で考えていくという考えを持っています。それについて何かコメントいただきたいです。

○委員

以前今のコミュニティとか自治会とかは、新しいことをやるというパワーや暇がないと言っただけで、もう今の人たちに新たにやるといのはなかなか難しいと思います。

野球の話になりますが、広島カーブが逆指名と言って良い選手をお金で取れるドラフトの時期があったんです。その時は強い選手が取れず、仕方がないので無名な選手を拾ってきて育てようというので今すごく強くなったんです。

なので、今の自治会に加入している人たちよりもっと若い世代を育ててあげるほうが早いんじゃないかと思います。10年20年計画で。

○委員

今の話も聞いて思ったんですけど、やっぱり完成してない状態で提言するのがいいなと思っていて、なぜかという、まちづくりに関心がある人が入り込める隙をここに残しておいて、ある程度のルールとか形はできても結局答えやゴールはない。完成に向けて余白をちょっと残しとくというのはありかなと思いました。

○委員

カードについて提言するってわかりやすいし、イメージしやすかったし、当初そういうふうに考えていたけど、たしかにカードについて提言しなくていいような気がするけど、そもそも私たち何が提言したいか、いまひとつバーベキュー型の中途半端な状態で出すというのが提言ですか。

○委員

確かにバーベキューは安い肉でも絶対おいしいですね。

みんなで作るからなので、そういうのをカードを使って、カードはコピー用紙で作ったかもしれないけれど、楽しいよねというのを伝えるというのが提言ですかね。

○委員

その通りだと思います。みんなで創造するという楽しみだと思います。

これだ、と提言されるとその通りやらなければいけないので押し付けみたいに受け止めてなかなかまとまらないです。それは今おっしゃたような形のほうが良いと思います。

B部会はそれで良いんじゃないでしょうか。B部会はそういう関心のないグループ、あんまりやりたくない人達がやろうということでしたので、そういう提言があって良いんじゃないでしょうか。

○部会長

では、次回、2月ですね、日にちを決めて。書ける人が幾つか見本で書いてきて、これ書けそうというのがあれ手伝ってみんなで作ったり、やり方はいろいろあると思うので。

○委員

サンプルは3人でスタートしますか。じゃあ、3人でグループ作ってやったほうが早いですね。他に誰か混じりたい人いますか。

○委員

出てきた言葉をあえて皆が自分の言葉に変えて、いいとこどりしても良いのかもしれないし。

○委員

じゃ、3人プラス金剛丸さんの4人でしますか。4人でグループを作って、LINEで思いついたことをポンポン出して、それをノートに残しましょうか。結構いつでも出来るので簡単じゃないです

か。

○委員

LINEは「いいね」を残せるんですけど。

○委員

ノートは残せますけど、やりとりしている感じならLINEの方が書きやすいですか。ノートなら、ただの一面になってしまうんで。別にLINEじゃなくてもメッセージでも良いですよ。メッセージは「いいね」を押せるし、それでグループ作りますか。こっちのほうが流れないから良いですね。

誰か他に入りたい人いますか。

○委員

提言出せるか分からないけど、作る時の話とかのグループに入っても良いですか。提言は思いついたらやります。

○委員

じゃあ、グループ、また作っておきます。

○部会長

では、また次回はLINEで日程調整しますか。

日程調整していただいて、それまでにグループでもんでいただいて、提案していただいて、意見ありあつてという感じですかね。

そういたしましょうかね。

もう時間になりましたので以上で。これだけは言っておきたいって人いらっしゃいますか。

そういうことで、今日はこれでお開きにしたいと思います。事務局、これでいいですか。

○事務局

大丈夫です。次回日程をLINEでつめていって、皆さんと調整させていただきます。

○部会長

では、2月にまたお会いするということで面白い提言がまた出てくるのを楽しみにしています。
ありがとうございました。

3 閉会

- ・ 次回の全体会は、2月26日(金)の19時から開催予定。